

基本計画における施策と新たな施策

  検討施策 1：啓発ツールの作成・活用  
  検討施策 2：啓発促進システムの構築

  検討施策 3：大型ごみの有料化  
  検討施策 4：ごみ袋の色指定制の導入

一般廃棄物処理基本計画—具体的施策—		新たなごみ減量施策 (答申案)	備考（審議会意見）	
			意見・課題	対策
1 循環型 社会の 形成に 向けた 基盤づ くり	①情報発信と情報の共有		違うメンバーでワークショップを行う	
	○広報誌、啓発誌、ホームページ、掲示、イベントなど様々な手法や媒体を活用した情報発信	検討施策2:啓発促進システムの構築		アクセスの良い場所でのイベント開催
	○市民、地域団体等が実践している取り組みの情報収集	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○市内事業所の取り組みや店頭回収等の情報収集	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○国の動きや他自治体の事例など先進的取り組みの情報収集	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	②環境教育、環境学習の充実			
	○ごみ減量出前講座、子ども向けごみ学習会の実施	検討施策1:啓発ツールの作成・活用	出前講座への参加者が少ない	参加できない市民に対するDVD等の活用
	○小学校4年生向け副読本「ごみ減量ワークブック」の活用促進	検討施策1:啓発ツールの作成・活用	幅広い年齢層に啓発をすることが必要	
	○国崎クリーンセンターの見学に伴う出前講座の実施	検討施策1:啓発ツールの作成・活用	ごみ処理の実態を知らない	見学会の規模拡充。バス手配の検討
	○学校園・保育所等との連携強化	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	③協働による取り組みの展開			
	○マイバッグ持参・ノーレジ袋運動の実施	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○「ごみ減量チャレンジ・モニター」の実施	検討施策2:啓発促進システムの構築	市民参加制度として参加人数が少ない	市民を巻き込む形で参加人数を増加させる。
	○自治会、コミュニティ等との連携	検討施策2:啓発促進システムの構築		自治会の活用
○スリム・リサイクル宣言店など市内事業所との連携	検討施策2:啓発促進システムの構築			
○事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進	検討施策2:啓発促進システムの構築			
○国崎クリーンセンター(猪名川上流広域ごみ処理施設組合)との連携	検討施策1:啓発ツールの作成・活用	知らない人、行ったことがない人が多い		
○近隣自治体等との協調と連携				
2 ごみの 発生抑 制と再 使用の 推進	①発生抑制の推進			
	○生ごみの減量化の促進	検討施策1:啓発ツールの作成・活用	細かい減量の方法を伝えてほしい	
	○容器包装ごみの削減	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○よく考えて必要なだけ購入する、不要なものは断る、修理をして長く使うなどごみを出さない行動の実践	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○事業系一般廃棄物減量化計画書の提出	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○製造、流通過程における発生抑制	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○マイバッグ持参など消費者に向けた啓発	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○市の行事やイベントにおけるごみ減量への取り組み	検討施策2:啓発促進システムの構築		
	○大型ごみ有料制の検討	検討施策3:大型ごみの有料化	近隣市はすべて有料化している。市民が納得する数字の把握が必要。業者による持ち去りや他市から持ち込みがある。	シールの購入費用を使って商業的ななどで啓発
	○ごみの有料化についての調査研究	検討施策4:ごみ袋の色指定制の導入	袋によってどれだけコストが掛かっているのか、分別が進んでいないのかというのを明確にする必要がある	
	○市民、事業者への情報発信及び支援事業の実施	検討施策2:啓発促進システムの構築	有料化の前に袋の色を透明・半透明にするほうが先ではないか。	
	②再使用の推進			
	○リターナブルペンの利用等リユースの促進	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○フリーマーケットやバザー、リユースショップ等の活用	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
○リサイクル情報誌「リ・ぼ・ん」の利用促進	検討施策1:啓発ツールの作成・活用			
○市民、事業者への情報発信	検討施策1:啓発ツールの作成・活用			

検討施策 1: 啓発ツールの作成・活用  
 検討施策 2: 啓発促進システムの構築

検討施策 3: 大型ごみの有料化  
 検討施策 4: ごみ袋の色指定の導入

一般廃棄物処理基本計画—具体的施策—		新たなごみ減量施策 (答申案)	備考(審議会意見)	
			意見・課題	対策
3 再生 利用 の 推 進 と 循 環 の 輪 の 形 成	①再生利用(リサイクル)の推進			
	○ごみの分別及び適正排出の徹底	検討施策4:ごみ袋の色指定の導入	封筒等の紙類を丸ごと燃やすごみに入れるケースも見掛ける	袋の色指定
	○店頭回収の促進	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○携帯電話など事業者による自主回収ルートへの協力	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○集団回収への積極的な参加	助成価格の見直し、抜き取り対策の検討	抜き取りへの対応、店頭回収との重複	
	○分別ルールの分かりやすい啓発	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○店頭回収など事業所の取り組みに関する情報提供	検討施策1:啓発ツールの作成・活用		
	○希少金属(レアメタル)のリサイクルに向けた、小型家電製品の資源化に関する調査研究			小型家電回収と地域商品券を組み合わせる
	○ごみ袋の透明・半透明化の調査研究及び導入の検討	検討施策4:ごみ袋の色指定の導入	リサイクルすべき物はする、リサイクル率のアップになる。モデル地区で袋の色を変えてサンプルリングしてはどうか。	行政側から見える袋の使用を呼び掛ける
	②循環の輪の形成			
○リサイクル製品や環境への負荷ができるだけ少ない製品の購入				
○グリーン購入法に基づく製品やサービスの情報提供				